

## 指導の手引き 17. 月(1)

<b>January</b>	最初の Jan- にアクセント。	<b>1月</b>
英語らしい音を出すコツ	語尾の -ary を -aly にしないために、舌先が歯の裏に触れないように注意する。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	ローマ神話の、始まりと終わりをつかさどる神ヤヌス (Janus) にちなむ。過去と未来を見渡す二つの顔を持つ神である。January は、16世紀に定められたグレゴリオ暦から一年の最初の月となった。	

<b>February</b>	最初の Feb- にアクセント。	<b>2月</b>
英語らしい音を出すコツ	最初の r を落として「フェブアリ」または「フェビュアリ」と言う。語尾は、ary を -aly にしないために、舌先が歯の裏に触れないように注意する。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	古代ローマで2月に行われた儀式の名前にちなむ。bのあとのrの発音が次に来るuの音と似ているために、rが脱落する。多くの言語によく起こる音変化の現象である。しかし、つづりどおり丁寧に読もうと意識して、rを発音して「フェブルアリ」と言う人も多い。	

<b>March</b>		<b>3月</b>
英語らしい音を出すコツ	-ar- は口をはっきり開ける。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	ローマ神話の軍神マルス (Mars) にちなむ。	

<b>April</b>	最初の A- にアクセント。	<b>4月</b>
英語らしい音を出すコツ	語の後半が「プ・リ・ル」とならないよう、-pril を1音節として「エイプウ」のリズムになるように発音する。rとlの違いを意識し、間のiはあまり口を開かずに発音するか、しなくてもよい。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	語源ははっきりしないが、ギリシャ神話のアフロディティ (Aphrodite、ローマ神話のビーナスに相当する) との関連を指摘する研究者があり、一般にはラテン語の「開く」と関連づける節もあるので、花や草木の開くことにつながる名前だとされる。	

<b>May</b>		<b>5月</b>
英語らしい音を出すコツ	-ay は長めに「エーィ」と発音する。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	ローマ神話の大地・豊穡の女神マイアスにちなむ。ヨーロッパやアメリカでは春の最後の月、イギリスでは夏の最初の月として受け止められている。	

<b>June</b>		<b>6月</b>
英語らしい音を出すコツ	-u- は唇をしっかりと突き出して発音する。最後の n も、舌先を上歯の裏に押し当ててしっかりと発音する。	
文法的な注意事項	人名や地名と同様、固有名詞として扱う。	
文化的な情報、応用表現など	ローマ神話の女神ユノ (ジュノー) にちなむとされる。ユノのは最高神ユピテル (ジュピター) の妻であり結婚生活をつかさどる。このため、6月の花嫁 June bride は幸せになると言われ	